

各位

高千穂電気株式会社
(東証一部 2715)

高千穂電気株式会社 2009年3月期 第3四半期 説明資料

1. 2009年3月期 第3四半期 業績サマリー

第3四半期 連結業績状況

売上高：72,025百万円（前年同期比：8,854百万円、10.9%）
営業利益：2,181百万円（前年同期比：993百万円、31.3%）
経常利益：2,152百万円（前年同期比：1,012百万円、32.0%）
四半期純利益：1,329百万円（前年同期比：797百万円、37.5%）

世界的な経済・金融危機が急速に拡大する中、当社の顧客先であるエレクトロニクス・メーカー等の生産調整の実施が、当社業績にも部品・材料の受注・売上高の減少という形で、大きく影響いたしました。

品目別では、機構部品等の「その他」は堅調に推移いたしましたが、絶縁材料・配線材料等の「電気材料」が前年同期比で大きく減少し、「電子部品」「オプティカル部品・材料」についても減少いたしました。
加えて、円高の進行により円建て換算額も減少いたしました。

各種経費の削減努力により、販管費は前年同期比で減少いたしましたが、相対的に利益率の高い「電気材料」の売上高の減少等により、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前年同期比で減少いたしました。

2. 本説明資料のポイント

2009年3月期通期の業績予想、期末配当予想を修正

詳細は、次ページ以降をご覧ください。

修正予想に対する第3Q累計の進捗率は80%以上

連結売上高：対通期 進捗率 80.0%
連結営業利益：対通期 進捗率 87.3%
連結経常利益：対通期 進捗率 82.8%
連結当期純利益：対通期 進捗率 83.1%

健全性で強固な財務基盤は、引き続き維持

自己資本比率：51.3%
有利子負債比率：0.8%
期末現預金残高：7,006百万円（08/3期末比：+1,064百万円）

上記の財務数値は、いずれも2009年3月期 第3四半期末（連結）の状況。

3 - 1 . 2009 年 3 月期 通期業績予想の修正

Point 業績予想を下方修正するものの、営業・経常・当期純利益ともに黒字は確保。

【修正予想】 通期黒字は確保。

売上高：9,000 百万円 営業利益：2,500 百万円 経常利益：2,600 百万円 当期純利益：1,600 百万円

各種経費の削減・見直しを行い、前回の計画策定時に比べ、販管費については300百万円の削減を行う予定です。

【修正要因】 世界的な金融・経済危機の急速な拡大が、当社の業績に対しても大きく影響。

金融危機による世界的な需要減退により、顧客先であるエレクトロニクス・メーカー等が、急激な生産調整を実施。生産調整に伴う部品・材料の発注量減少により、当社グループの売上高が減少。

(ア) 当社の主要顧客(売上上位10社)の通期業績予想の状況(2009/1/30現在)

通期業績予想を下方修正した会社	10社/10社
内 当期純利益が赤字または「0」予想の会社	5社/10社

為替レートが急激に変動。

(ア) 平均為替レート(円ドル：東京市場終値平均)

2007/4～2007/12	117円28銭
2008/4～2008/12	102円79銭

(イ) 東京市場の第3四半期末の終値

2007/12/30 終値	112円62銭
2008/12/30 終値	90円28銭

円換算時の海外売上高が減少。(影響額：約2,000百万円)
営業外費用として、海外売上債権を中心に為替差損が発生。

直近の状況を鑑み、下期の想定円ドル・レートを修正いたします。

当初 1ドル = 100円 修正 1ドル = 90円

3 - 2 . 配当予想の修正

Point 従来予想からの減額幅が大きいことを考慮し、結果として当期は配当性向を引き上げ。

【 当社の基本方針 】 株主の皆様への利益配分を経営の最重要課題と位置づけ、配当性向（連結）30% を維持。

【 当期の特別措置 】 当期に関しては、配当性向（連結）34.2% となる予定。

前ページの業績予想の修正に従い、基本方針である配当性向（連結）30%とした場合、当期の期末配当予想は1株当たり7円となりますが、従来の公表予想（期末配当：1株当たり20円）と比較して減額幅が大きいため、当期に関しては配当性向（連結）を引き上げ、当期の期末配当予想は1株当たり10円に修正いたします。

1株当たり年間配当金：30円・・・中間期末（実施済み）：20円、期末予想：10円
配当性向（連結）：34.2%

3 - 3 . 役員報酬の減額

Point 急速な業績悪化への対策の一環として、役員報酬の減額を実施。

経費全般の見直しを進める中、業績悪化への緊急対策の一環として、月例役員報酬を下記の通り減額。

役員報酬減額の内容

(ア) 代表取締役 月例報酬額の20%を減額 (イ) その他取締役 月例報酬額の10%を減額

対象期間

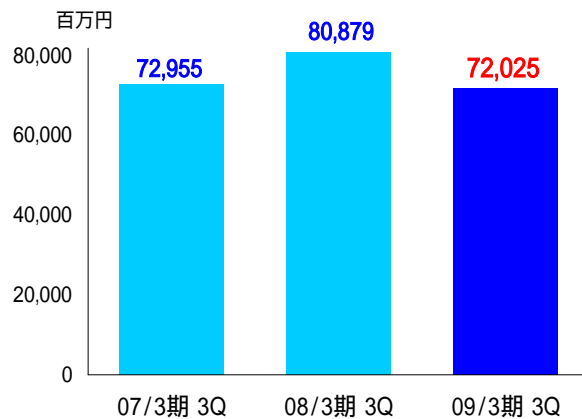
(ア) 2009年1月～2009年6月までの6ヶ月間（取締役の任期は1年のため、ひとまず任期の終了する期間としております。）

4. 第3四半期 連結売上高：72,025 百万円 前年同期比： 8,854 百万円、 10.9%

Point 顧客先の急速な生産調整、及び円高の影響により減少。また、品目別の構成比が変化（電気材料が低下）。

【連結売上高推移】

顧客先（IT/電気・メカ等）で急速な生産調整が実施され、当社の部材受注が減少したこと、円換算時の海外売上高が、円高進行により減少したこと等により、前年同期比で減少いたしました。



(百万円)	08/3期	09/3期
第3Q累計期間	80,879	72,025
通 期	105,724	90,000

09/3期の通期は予想数字。

第3Q累計期間進捗率（対 通期）

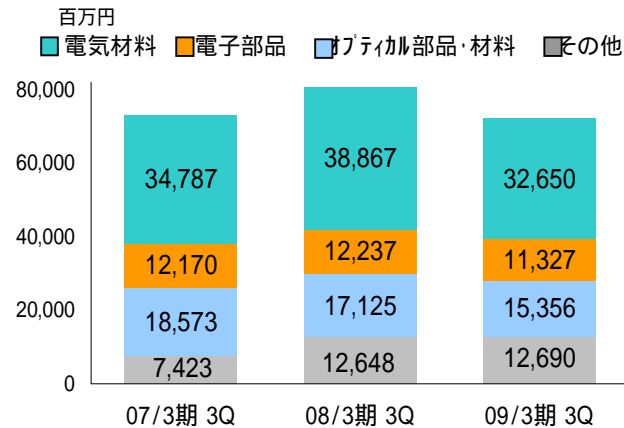
進 捗 率	76.5%	80.0%
-------	-------	-------

円高による影響

連結売上高の減収：約 2,000 百万円

【品目別売上高推移】

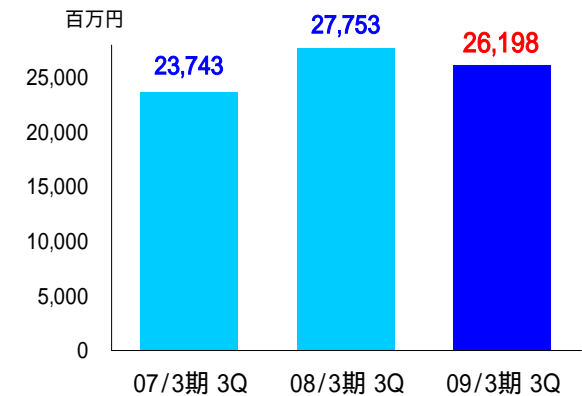
TV向け部材の販売増等により「その他」が堅調に推移いたしました。
一方、近年の業績を牽引したフレキシブル基板等の配線材料や海外向けの絶縁材料等の「電気材料」が減少いたしました。



(百万円)	08/3期 3Q	09/3期 3Q
電 気 材 料	38,867 48.1%	32,650 45.3%
電 子 部 品	12,237 15.1%	11,327 15.7%
オフ・ティカル 部品・材料	17,125 21.2%	15,356 21.3%
そ の 他	12,648 15.6%	12,690 17.6%

【海外売上高推移】

これまで好調だった絶縁材料等が、顧客の生産調整等の影響で減少し、さらに円高の進行により、円建て換算額も減少いたしました。



(百万円)	08/3期 3Q	09/3期 3Q
海外売上高	27,753	26,198
連結売上高	80,879	72,025

海外売上高 売上構成比

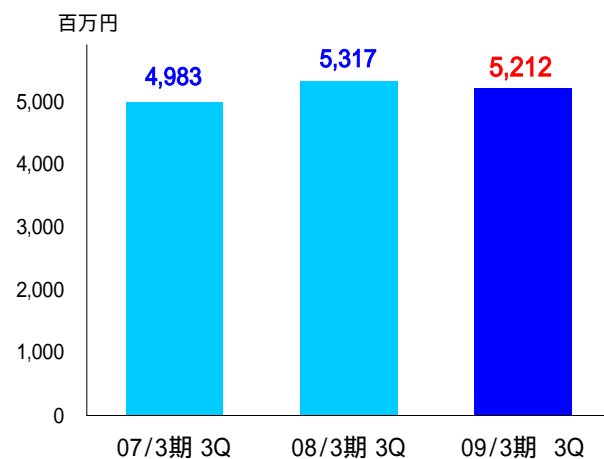
売上構成比	34.3%	36.4%
-------	-------	-------

5. 第3四半期 **連結営業利益：2,181百万円** 前年同期比： 993百万円、 31.3%

Point 販管費の削減に努めたものの、売上総利益の減少により、営業利益が低下。

【 連結販売管理費推移 】

各種経費の見直し・削減を進めた結果、連結販管費は前年同期比 105百万円の5,212百万円に減少いたしました。



(百万円)	08/3期	09/3期
第3Q累計期間	5,317	5,212
通 期	6,913	6,800

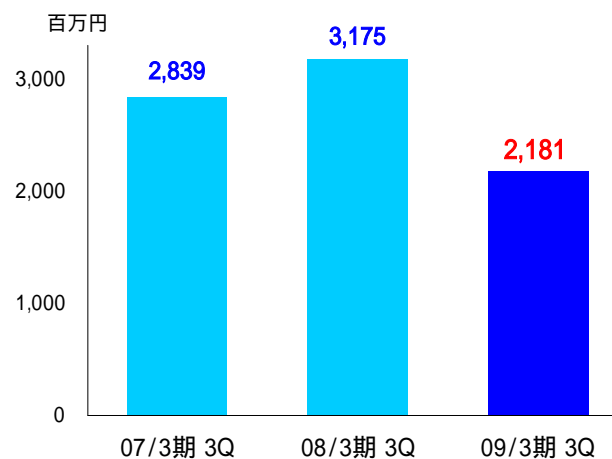
09/3期の通期は予想数字。

第3Q累計期間進捗率(対通期)

進 捗 率	76.9%	76.7%
-------	-------	-------

【 連結営業利益推移 】

販管費は削減いたしましたが、相対的に利益率の高い「電気材料」を中心とした売上高が減少したことにより、前年同期比で減少いたしました。



(百万円)	08/3期	09/3期
第3Q累計期間	3,175	2,181
通 期	4,175	2,500

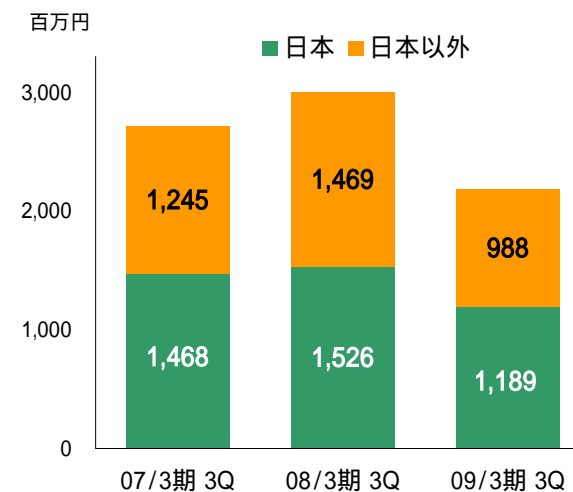
09/3期の通期は予想数字。

第3Q累計期間進捗率(対通期)

進 捗 率	76.0%	87.3%
-------	-------	-------

【 地域セグメント別営業利益推移 】

国内ではフレキシブル基板等の配線材料の売上高が減少したこと、及び海外では絶縁材料等の相対的に利益率の高い「電気材料」の売上高が減少したことで、国内外ともに前年同期比で減少いたしました。



(百万円)	08/3期 3Q	09/3期 3Q
日 本	1,526	1,189
日 本 以 外	1,469	988
中 国	1,060	793
その他アジア他	409	195

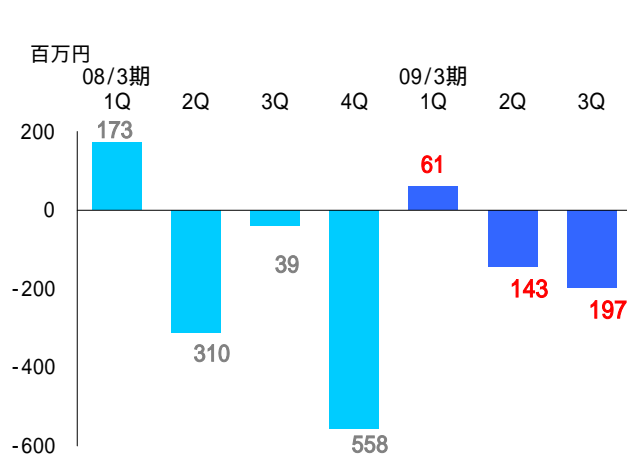
上表は「消去又は全社」前の数値であり、合計値と連結営業利益は一致しません。

6. 第3四半期 連結経常利益：2,152百万円 前年同期比：1,012百万円、32.0%
 連結四半期純利益：1,329百万円 前年同期比：797百万円、37.5%

Point 当期は、為替変動リスクの低減策を実施したものの、それ以上の急速な円高進行により、為替差損を計上。

【 四半期別 連結為替差損益推移 】

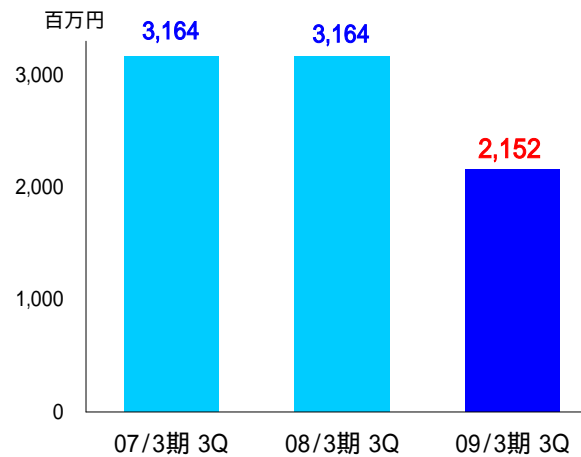
当期は、想定レートを1ドル=100円で設定し、為替の予約カバー率も引き上げを行うことで、為替変動リスクを低減しましたが、昨秋以降の急速な為替変動の影響を受けたことにより、為替差損を計上いたしました。



(百万円)	08/3期	09/3期
第3Q累計期間	175	279

【 連結経常利益推移 】

営業利益の減少により、前年同期比で減少いたしました。



(百万円)	08/3期	09/3期
第3Q累計期間	3,164	2,152
通 期	3,689	2,600

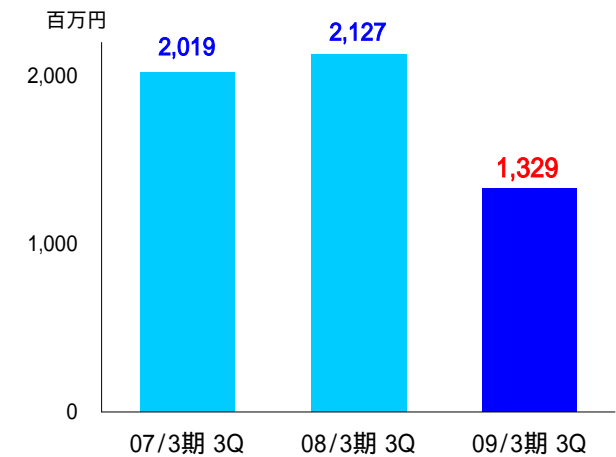
09/3期の通期は予想数字。

第3Q累計期間進捗率(対通期)

進 捗 率	85.8%	82.8%
-------	-------	-------

【 連結四半期純利益推移 】

経常利益が減少したことに加え、海外現法所有の債券償還損(第1Q)を計上したことにより、前年同期比で減少いたしました。



(百万円)	08/3期	09/3期
第3Q累計期間	2,127	1,329
通 期	2,510	1,600

09/3期の通期は予想数字。

第3Q累計期間進捗率(対通期)

進 捗 率	84.8%	83.1%
-------	-------	-------

7. 財務の健全性は、引き続き維持

Point 有利子負債は引き続き低水準で推移し、自己資本比率は高水準を維持。

有利子負債の状況：有利子負債残高 180 百万円 有利子負債比率 0.8%

現預金残高の状況：7,006 百万円（08/3 期末比：+1,064 百万円）

純資産の部の状況：純資産額 23,453 百万円 自己資本比率 51.3%

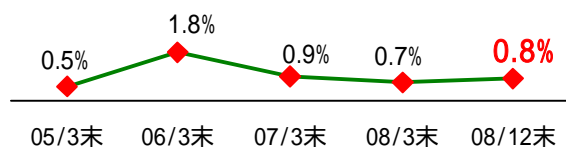
配当金の支払いにより減少した一方、四半期純利益 1,329 百万円を計上したことにより、利益剰余金は**前期末比 576 百万円増加**。

たな卸資産の高回転率・不要な固定資産を持たない経営を長年続けてきたことにより、低水準の有利子負債とあいまって、現在も健全かつ強固な財務基盤を維持しております。

ただし、今後とも現在の経済環境が長期化する可能性があるため、引き続き販管費の削減に努めます。

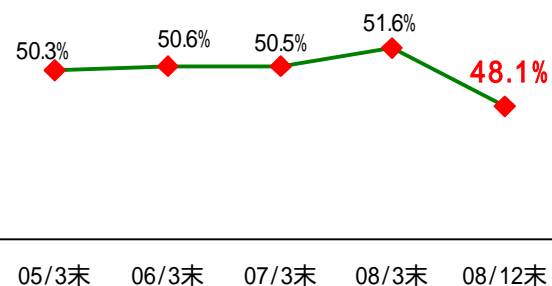
【有利子負債比率】

有利子負債 ÷ (株主資本 + 評価・換算差額等)



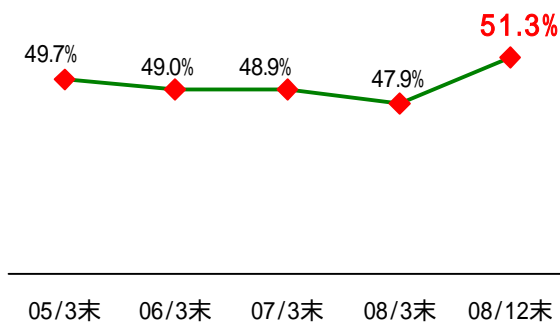
【負債比率】

負債 ÷ 総資産



【自己資本比率】

(株主資本 + 評価・換算差額等) ÷ 総資産



本資料のお問合せ先 高千穂電気株式会社 磯上、東條、佐座 Tel 03-3454-3526 Fax 03-3454-3306 E-mail:ir@takachiho.co.jp

本資料は、2009年3月期第3四半期累計期間の業績・事業概要に関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り、2008年12月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後、予告なしに変更されることがあります。